

計画区分		6 家族介護支援						
NO	目指す姿	課題	取組の方向性・ 考え方・手段	取組			担当	備考
				R6実績	R7	R8		
1	在宅介護の不安解消	介護に不安や大変さを感じていても、相談する先がない、抱え込んでしまう	介護者の困りはどこにあるのか、情報や相談はどんな提供が良いか	地域ケア会議での話題にて、情報が得られず限界まで介護してしまう事例把握。「困ったら包括」の広報開始 介護保険制度の周知は介護保険証の送付時、75歳時等で実施	実際の介護者への聞き取りと地域ケア会議等にてよくある事例をまとめ、手の入れどころを模索し、試行する（介護者の会、情報提供、孤独の解消、不安感の解消、見通しが見つからないストレスへの対処などが想定される）	情報提供の内容や手段、困りごと対処の入り口を明らかにし、必要な人に相談の場や必要な情報が届く仕組みの確立		
		介護方法や対応の仕方が分からず、介護者が体を壊してしまう、ストレスをため込む						
		介護保険制度の使い方や、申請タイミングが分からない						
2	仕事介護を両立できている	仕事と介護を両立するための相談先がない、誰に相談したらいいかわからない。	事業所へのライフイベントとしての従業員の介護への配慮周知	町内事業所への介護保険制度、仕事と介護の両立についての出前講座（再掲） すまいるでの検討（再掲）	事業所の総務部門への周知強化 在宅介護の不安解消対応に合わせた対応			

○計画に定める成果指標のうち本事業に関連のあるもの

NO	内容	回数	備考
1	包括支援センターの認知度（相談窓口を知っている割合）	R4 元気高齢者 13.8%	高齢者実態調査による 次回調査令和7年度
		R4 居宅サービス利用者 30.0%	高齢者実態調査による 次回調査令和7年度
2	今後も介護をしながら働き続けられる介護者	R4 79.1%	高齢者実態調査による 次回調査令和7年度

計画区分		7 介護人材の育成						
NO	目指す姿	課題	取組の方向性・ 考え方・手段	取組			担当	備考
				R6実績	R7	R8		
1	在宅で安心して暮らせるための医療・介護の体制づくり	医療介護の現場を担う専門職が不足している	医療介護専門職の確保	・人材確保のための介護職員の資格取得費の補助（R 6 介護福祉士1人） ・箕輪町にU I ターンする特定人材（資格職）への就労助成（R 6 看護師3人）	・箕輪町U・I ターン応援奨学金支援補助金 ・人材確保のための介護職員の資格取得費補助金 ・箕輪町U I ターン応援特定人材就労奨励金	・箕輪町U・I ターン応援奨学金支援補助金 ・人材確保のための介護職員の資格取得費補助金 ・箕輪町U I ターン応援特定人材就労奨励金		介護職員資格取得費補助金（介護福祉士・介護支援専門員）助成 箕輪町U I ターン応援特定人材就労奨励金（社会福祉士・介護福祉士・看護師・保育士）助成
		事業所の運営に当たって少ない人数で切り回すための連携や課題の共有等を行う仕組みがない	事業所連絡会の開催による、連携と情報交換	事業所連絡会の立上げ準備	事業所間の困りごととの共有と、連携できるポイントの模索、町の関わり等の意見交換 出来る取組から実施	出来る取組から実施		
		外国人材が箕輪町に定着し、働きやすい環境づくりへの配慮	外国人労働者が暮らしやすい環境づくり支援	多文化共生室の設置、通訳の増、やさしい日本語教室などの環境整備	どんな支援があると暮らしやすいのか？必要な支援の検討	出来る取組から実施		
		行政に出す書類に手間がかかる	書類の簡素化、電子化	総合事業関係の書類の簡素化と押印廃止、メール提出へ 電子連絡帳の導入	電子連絡帳の利用拡大とメール機能でのペーパーレス化促進 申請請求手続きを基本的にフォーム化する	手続きの簡素化		
2		専門職が送迎など専門職以外でもできる仕事に追われ、専門職として働ける時間が圧迫されている	専門職が専門職として働ける時間を延ばす	愛知県豊明市のちゃっと（有償ボランティアのマッチング）などの事例の研究	生活支援体制整備事業見直しの一環として、社協と協力しボランティアマッチングの検討	出来る取組から実施		地域主体の送迎の仕組みの検討などと併せて取り組む

○計画に定める成果指標のうち本事業に関連のあるもの

NO	内容	回数等	備考
1	介護職員資格取得補助金利用者数	R6 目標2人 実績1人	
2	事務負担軽減(電子化)	電子連絡帳の導入／総合事業の様式簡素化	